○昨年は震災のため最小規模での開催でしたが、今年の**相馬野馬追祭**は例年のように、
7月28日（土）相馬市で**「出陣」**・南相馬市原町区雲雀ヶ原祭場地での**「宵乗競馬」**、
29日（日）原町区本町南町の**「お行列」**、雲雀ヶ原祭場地での**「甲冑競馬」「神旗争奪戦」**、
30日（月）小高区小高神社境内（警戒区域）での**「野馬懸（のまかけ）」**を開催予定です。
相馬野馬追祭は勿論、千年の伝統を誇る、この相双地方最大の行事ですが、法螺貝の響きや馬の嘶き、相馬民謡に心をときめかす人々も多いはずです。今年は世界が見守る**野馬追祭**になりそうです。

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.193
2012（平成24）年　7月18日（水）発行

※「昨年の脱原発の署名、どうなったのかなあ」という会員さんからの質問が事務局にありました。遅れて申し訳ございません。次のように報告いたします。

本会では2,320人分が集まる
「さようなら原発1千万人署名」
全国から748万1，352人分の署名

呼びかけ人・大江健三郎、澤地久枝、瀬戸内寂聴、落合恵子、内橋克人、坂本龍一、鎌田慧氏らの「さようなら原発1千万人署名」は、私たち**「はらまち九条の会」**も賛同し、昨年9月から署名活動を開始。10月で1,146人分、今年2月で1,052人分、4月まで122人分、合計2,320人分を東京の本部に郵送しています。全国では6月12日までに、**748万1352人分**が集まり、約180万人分を横路孝弘衆院議長に提出。残りも野田佳彦首相や参院議長に提出。

しかし政府は国民の「声」を全く無視して、大飯原発の再稼働をはじめました。根強く叫び続けるしかありません。

≪7月16日 さようなら原発10万人集会≫
東京・代々木公園に"17万人"が全国から集まる！

33度の酷暑にめげず、脱原発を訴えて全国から17万人が集まり、「たかが電気のために命を危険にさらすなんて。子どもを守ろう」と坂本龍一さんが挨拶し大きな拍手が。集会後は新宿・恵比寿・明治公園へ街頭デモ行進。年寄りや若者、家族ぐるみの参加も多く、沿道からの声援も強かった。これでも野田さんは動かないのでしょうか。

▲写真・炎天下の代々木公園で。事務局山崎撮影

大震災・大津波・原発事故・・　オラ ゴセヤゲルー！

20㌔圏内の南相馬市原町区江井（えねい）地区の、津波、放射能汚染、強制退去の経過をそのまま取材したドキュメンタリー映画**『相馬看花（そうまかんか）』**が好評です。
でも「相馬弁が分からなくて」という感想も多いそうですが、若い松林要樹監督は「あえてスーパー（字幕）をつけませんでした」と。そこでオラもグチを相馬弁で・・・。

●ナスもキュウリもトマトもピーマンも、今頃は自分チで作って食べテダ。それが原発事故で、遠くのウマグネェ野菜買わなきゃナンネ。みんなから貰ったり交換し合ってダノニー。米もだべ、水も・・・オライの井戸水は“テッカンビール”で、夏は冷たく冬暖かく、ウメガッタ！金なんかイラネガラ、元に戻せえー！●野田さん、一度家族と一緒に南相馬市に来てみて、みんなの話聞いてみてー！●東電の福島第二原発再稼働ダド、東北電力の浪江小高（棚塩）原発、また作っかも知んねダド。キチガイダー！●孫らと一緒にいたんだゲンチョ、今はバラバラ！息子夫婦は孫と遠くの仮設に住んデンダ。狭くて孫が可愛そうだー！涙出るー！●今さら国会事故調が「原発事故は人災」ダド。みんな人災だってズット言ってダノニ●福島県議団が7月初め、チェルノブイリ原発に視察ダド！もう20年前に行ってみて、原発は危ネエドと警告していた市民もイルッツーノニ、今ゴロ！●「不安を招く」ナンテ言って、お上の勝手な思惑でSPEEDIも米軍データも子どもらの被曝線量も公表シネガッタ。結局みんなを被曝させたんだベシタ。ホシテ誰も責任取ンネモンナ●区域指定の線引きも、ホントいい加減に決めて無責任だー！飯舘村も気の毒ダ！長泥地区は今になって立入禁止ダド、隣の蕨平は除染ダド！ゴセヤゲルー！

地震・津波・原発事故の体験を発表、記録しませんか

千年に一度という大震災、それ以上に甚大な原発事故に私たちは遭遇しました。それぞれの体験は心の中だけではすぐに消えてしまいます。文字や写真の記録として残して後世に伝え、風化させたくないものです。よろしければ、少しの勇気を奮い起こし、この『会報』に記録し発表はいかがでしょう。

「バスティーユ襲撃」

ルイ16世

似ているような…

野田さん

「フランス革命時代」と「現代日本」を重ね合わせてみると・・

○**「なに 暴動か」**ルイ16世 **「いえ陛下、これは革命でございます」**リアンクール公

これは1789年7月14日夜半、フランス革命のバスティーユ牢獄襲撃の様子を聞いての会話です。
そして223年後の今年2012年6月29日夜、東京・首相官邸前での原発再稼働反対の抗議行動に、**「大きな音だね」**と野田佳彦首相　警護官は**「・・・」**何も答えず。**「大きな＜音＞ではなくて、国民の切なる＜声＞です。首相、これは＜アジサイ革命＞でございます」**とでも言えばよかったのに！

○ルイ16世の弟のルイ18世はフランス革命で亡命し、混乱が終息すると帰国して復古政治を行い、反省も学習もなかった。これを政治家**タレーランが「何事も学ばず　何事も忘れず」**と揶揄した。
それから200年後の日本。福島第一原発のこれほどの甚大な事故から、東電も国も政府も原子カムラも、何も学ぼうとしないどころか、震災前の美味しい利権のことは何一つ忘れてはいない。全く同じです。

≪事務局へのお便りより≫

「蓮池透講演会で南相馬を訪問！」

「除染署名のお礼状とニュースをありがとうございました。一つのニュースは短いのに神髄を貫いていて共感し、情報を共有させていただくことができました。被災一周年の『蓮池透講演会＋ジャズヒケシｉｎ相双』のツアーに私たち３名で参加。その際、「はらまち九条の会」の皆様には大変お世話になりました。コンサートもよかったし、被災地の被害を聞くにつけ、ほんとうに東電のことは許せない！国民のほとんどの願いは脱原発の方向であること、私たち広島でも再稼働しないよう要請の活動を行っています。活動に敬意を表しながら、ともにがんばりましょう。」**（広島市 Mさん）**

「水俣病と原発事故は全く同じ構造です」

「６月１１日、水俣病研究の原田正純医師が他界、がっかりしました。水俣病と福島第一原発事故は全く同じ構造、営利優先で被害者が切り捨てられようとしています。断じて許すことはできません。そして色々考えて、東電の刑事責任を追及する「福島原発告訴団」の会員になるつもりです。

さらに私は仙台市の筋弛緩剤事件の守大助さんの冤罪を晴らす活動もしています。彼は無罪です。

会報188号で貴会**「会員名簿」**の中に、もう46年も前、東京の福島県学生寮で一緒に生活した後輩のSさんの名を見つけ、早速連絡を取り合い親交を深めました。」　**（一部略・福島市 Wさん）**

≪事務局より≫

◆『会報』№186裏面の「南相馬市の子どもたちのことば」が感動を集め、東京都町田市の**「玉川学園九条の会」**様の会報にも取り上げられました。

◆**今年の会費**も７割ほどの会員の皆様から集まっています。ありがとうございます。『会報』№191掲載のように、６月１９日には川崎市の**「たかつ九条の会」**様からも３万円のカンパをいただきました。感謝と御礼を申し上げます。

また、これだけの原発事故を起こしたのに大飯原発を再稼働し、国民の人権も命も大切にしない政府に怒りを表すため、私は７月１６日、東京代々木公園での「さようなら原発１０万人集会」に参加しました。新宿までの街頭デモで「南相馬」という大きな旗を見た沿道の人々が、拍手や声援をおくってくれて、大変感激し胸があつくなりました。皆さんが「南相馬」のことを心配し、考えてくれているのがよく分かり嬉しくなりました。　（会計・井上）

◆５月５日に神奈川県の**「さがみ九条の会」**様からいただいたカンパ44,100円は、南相馬市の子どもたちを放射能災害から守るため、「つながろう南相馬」に贈りました。先日**「さがみ九条の会」**様に報告し受領書も送りました。

◆6月11日、福島県民1,324人が東電や国の責任者を告訴しました。女性の参加が増え、脱原発集会でも女性が目立ちます。いよいよ本物の社会改革が始まっているような気がします。

川崎市に孫娘と避難して、南相馬市にいる人々には「後ろめたい」気持ちで１年４ヶ月。せめて避難や被災の様子、南相馬市の状況を関東圏の人々に伝え理解していただこうと、依頼に応じてあちこちの会場で話しています。そして被災した南相馬市の現地を見ていただくため引率し、ガイドも行いました。『会報』の編集や、脱原発の各集会、金曜日の首相官邸前集会、７・16の炎天下の代々木公園集会にも参加してきました。（山崎）

≪「はらまち九条の会」事務局連絡先≫

○会長：平田慶肇 TEL0244－24-1211　○石田賢二 TEL0244-22-4037　○早坂吉彦 TE0244-22-0326
○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
○HP担当：大浦祥見・佐藤喜彦　○番場恵子（市外に避難中）
○事務局長：山崎健一 TEL090-7527-5453　（避難先：〒213-0033神奈川県川崎市高津区下作延4-26-43 セトル溝ノ口505　Eメール：yamazakiken1@gmail.com）